

職場改善で生産性が向上 TPM活動でロス・ゼロを目指す

(Total Productive Maintenance「全員参加の生産保全」)



大日工業(株) 本社

弊社では、プリント基板製造を中心としたものづくりの企業で、省エネ製品をコントロールするマイコン制御基板や電源供給するPOWER基板など小ロット多品種の生産はもとより新規基板の開発設計、試作なども行っています。今回、工場内の機械トラブルやチョコ停の影響で生産が計画通り進まなかったことがあり、新産業課で行っている「製造現場改善支援事業」というものを知り、利用させていただきました。



大日工業(株)
代表取締役社長
川瀬 昌之さん

アドバイザーの方からは、生産システムの効率化・コストダウン等の改善活動をはじめ、設備の生産性向上のための清掃・自主管理活動、設備の計画管理(予防保全・改良保全・定期保存等)、不良の出ない設備の条件設定と条件維持、災害ゼロ・公害ゼロの体制づくりなど、5カ月間に亘り多くのアドバイスをいただきました。中でも、TPM活動は、設備に携わる生産部門だけの活動ではなく、開発・営業管理などあらゆる部門にわたってトップから第一線従業員に至るまでの全員参加の重複小集団活動により、「ロスゼロ」を達成することを学びました。

この支援事業により、設備の稼働率が約30%向上し、故障の減少と品質向上が図られました。また、5S3定を徹底し職場内の無駄を排除したことにより、生産性が約15%アップしました。現在もアドバイザーの方とは個別契約し、引き続きTPMの指導を受けております。



設備のメンテナンスをする担当者



新規導入されたラジアル挿入機

製造現場の改善で、 企業体質の強化を



新産業課
小堺昭宏・相磯勝宜

TEL.054-355-5400

この製造現場改善支援事業は、平成22年度からスタートし、26年度で5年目を迎えます。この間、40件の支援事業が行われ、大日工業さんのように現場の改善で企業体質の強化が図られています。アドバイザーは、大手メーカーで設計や技術開発をされた方など企業OBを中心とした専門家です。

支援内容は、①現場作業改善として、5S(工場内の5S診断、改善点の提案、社員への勉強会、再診断とフォロー)や工場・作業場等の省電力に関するアドバイス。②技術力向上支援として、生産加工技術等の向上やロバストデザインに関するアドバイス。③品質向上支援として、HACCP支援や生産管理に関するアドバイス。④取得支援として、エコアクション21の取得やBCP(事業継続計画)の策定に関するアドバイスなどがあります。

アドバイザーの派遣費用のうち10分の9の費用(1事業所につき最大20万まで)を助成します。要項・詳細など、お気軽にご連絡ください。